

株主メモ	
事業年度	2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	毎年4月
基準日	1月31日
剰余金の配当の基準日	1月31日、7月31日（中間配当を行う場合）
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人 同事務取扱場所	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL 0120-094-777（通話料無料）
公告掲載方法	電子公告によりホームページ(https://www.artner.co.jp/) に掲載いたします。ただし、事故、その他やむを得ない 事由によって電子公告をすることができない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。

（ご注意）

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

『IRメール配信』サービス

Eメールアドレスをご登録いただいた方に「投資家情報」の更新、決算、ニュースリリース、その他重要事項の最新情報を、Eメールにて配信いたします（無料）。

下記URLまたはQRコードからサイトにアクセスしてご登録ください。

<https://www.artner.co.jp/ir/mail/>



↑QRコードから
アクセス

当社のIR活動が表彰を受けました！	
日興アイ・アール株式会社 2018年度全上場企業 ホームページ充実度ランキング ●総合ランキング「最優秀サイト」 ●業種別ランキング「優秀サイト」（サービス業5位）	ゴメス・コンサルティング株式会社 Gomez IRサイト ランキング2018 ●総合ランキング「優秀企業」「銀賞」（83位） ●業種別ランキング（サービス業7位）

株式会社アルトナー

東京本社 〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-5 住友不動産新横浜ビル5F

大阪本社 〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-18 住友中之島ビル2F

Webサイト／投資家情報のご紹介

<https://www.artner.co.jp/>

アルトナー

検索



▲リニューアルしました！ トップページ



▲投資家情報（トップページ）▶投資家情報

エンジニアインタビュー等

動画ならではの当社情報を配信中！



▲<https://www.youtube.com/> より

アルトナー公式

検索

57 | IR

株式会社アルトナー

証券コード：2163

第57期 IRレポート【期末】

2018年2月1日～2019年1月31日

特集：教育・研修施設

「ラーニングセンター」リニューアル

Make Value!



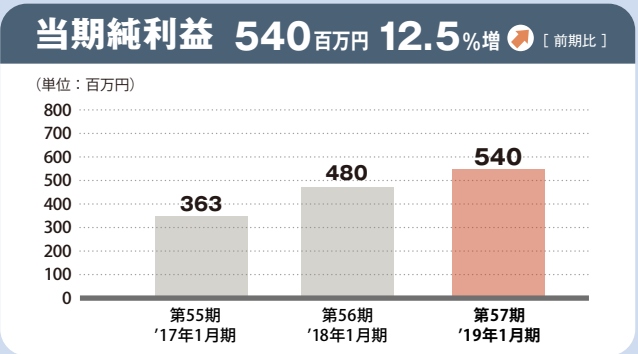
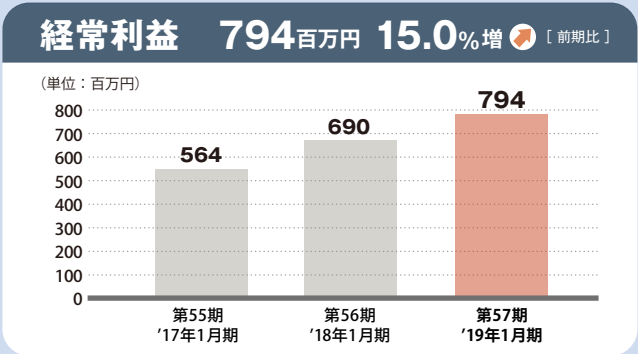
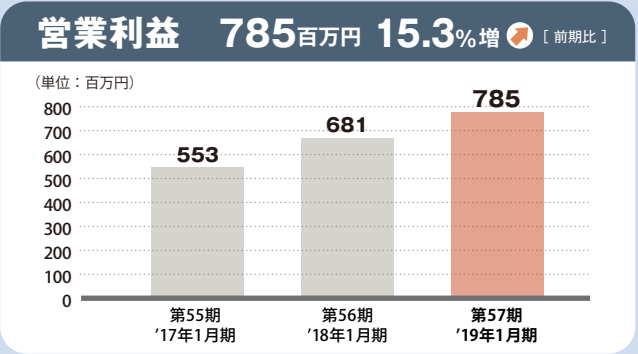
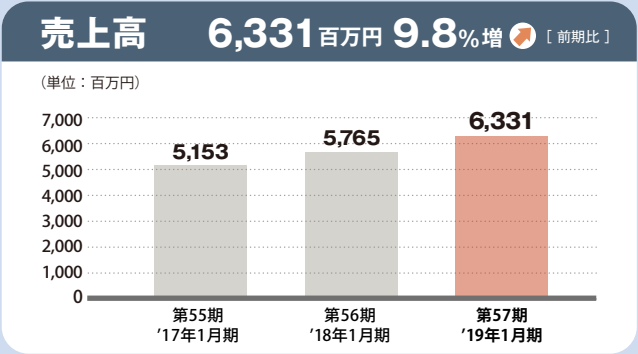
Engineer Support Company



— Create the Future —

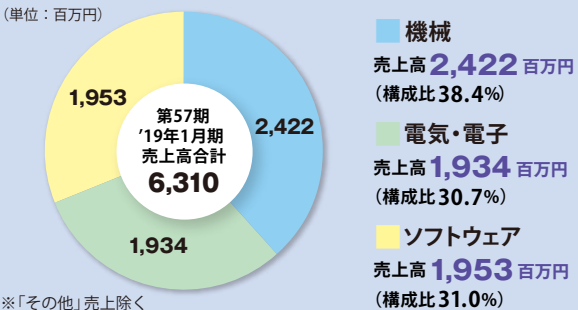
ARTNER



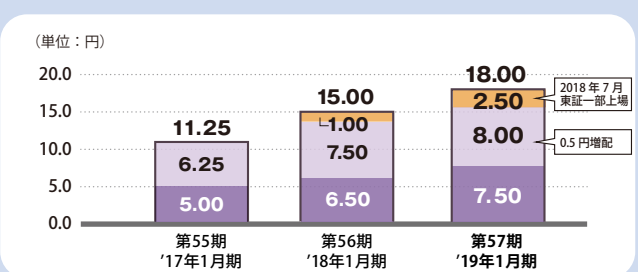


ROE(自己資本当期純利益率)他 経営指標に関する詳細は ▶[アルトナーサイトTOP](#) ▶[投資家情報](#) ▶[業績・財務情報](#) ▶[主な経営指標](#)を参照

第57期 分野別売上高 (※)



配当金推移



※1株当たり配当金は次の通り実施した株式分割に伴う影響を加味して遡及修正をしております。
●2017年2月1日(1株を2株に分割)
●2018年4月1日(1株を2株に分割)

Top Commitment

5期連続で増収・増益を達成し、
東証一部上場企業として
さらなる事業活動を推進します。

第57期(2019年1月期)の業績、第58期(2020年1月期)の業績
予想、新中期経営計画の進捗と、さらなる取り組みについて
ご説明させていただきます。

代表取締役社長 関口 相三

第57期(2019年1月期)の市場環境

自動車関連の輸送用機器に加え、
自動化技術の生産機械の技術者要請が好調。

市場環境は、第56期に引き続き自動車関連を中心とした
輸送用機器分野、情報通信分野、さらには機械分野の先行
開発プロジェクトが活況で、当社への技術者要請も旺盛でした。
その中でも、運転支援技術を備えた先進安全自動車、また、
昨今の労働人口不足を背景に、自動化技術を備えた生産機
械のプロジェクトが活発でした。

第57期（2019年1月期）の業績概要

**技術者の増員、離職率の低下、
技術者単価の上昇により、増収・増益を達成。**

こうした市場環境において、当社は5期連続の増収・増益を達成することができました。顧客企業からの技術者要請がハードからソフトへと変化しつつあることに対応した採用のバランス調整により、機械・電気・電子、ソフトウェアの売上高は、ほぼ同じ割合になってきております。新たな人材採用においては、第57期は新卒技術者130人、キャリア技術者26人を迎え入れ、前年対比で大きく増員を図りました。また、売り手市場にありながら、離職率は低下いたしました。第57期に入社した技術者は、早期に配属が完了し、初配属単価も上昇いたしました。また、これに加えて、顧客企業のニーズと技術者のスキルのマッチング精度を高めることで、全社的にも、技術者単価の上昇を実現いたしました。

これらを踏まえ、第57期の売上高は6,331百万円（前期比9.8%増）、営業利益は785百万円（前期比15.3%増）、経常利益は794百万円（前期比15.0%増）、当期純利益は540百万円（前期比12.5%増）となりました。

第58期（2020年1月期）の業績予想

**第57期に営業利益率の目標12.5%をほぼ達成。
第58期は3つの戦略投資を計画。**

通商摩擦等の不安定要素により、景気に与えるマインドが変化しつつある兆候も見受けられます。一連の情勢が具体的に今後どのように顕在化していくのか、市場環境を注視していく必要があります。

第57期において営業利益率が12.4%となり、中期経営計画の

目標12.5%をほぼ達成したこともあり、第58期においては、従業員の待遇改善強化、教育・研修施設のラーニングセンター増床運営、請負・受託事業の強化のための社内環境の整備という3つの戦略投資を計画しております。

2018年7月に東京証券取引所市場第一部銘柄に指定されたことが、採用活動においてプラスに働いており、2019年4月の新卒入社者が153人となりました。2020年4月の採用目標を170人とし、中期経営計画の最終年度(2021年1月期)の技術者数の目標1,000人の達成に向けて邁進しております。

これらを踏まえ、第58期の通期業績の見通しは、売上高は6,844百万円、営業利益は870百万円、経常利益は874百万円、当期純利益は604百万円の増収・増益を見込んでおります。

中期経営計画（2019年1月期～2021年1月期）の進捗

**確かな一歩を踏み出した請負・受託事業。
受注プロジェクト数増加が今後の至上命題。**



株主・投資家の皆様へ

**当社の強みと特徴を打ち出して、
さらなる成長と安定配当を期待される企業へ。**

株主・投資家の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社は2018年7月に東証一部銘柄となり、東証一部市場の中で、皆様から比較評価される立場になりました。このことを十分に認識しながら、経営施策、還元施策を含めて検討してまいります。上位の同業他社が存在する市場の中で、アルトナーならではの独自性や成長に向けた特徴を打ち出していきながら、より魅力ある企業として邁進し、安定的な配当を実施してまいります。また、企業の社会貢献活動の指針がCSRからESG、SDGsへと展開する中、当社としては企業活動方針を再構築していく必要があると考えております。第57期の普通配当は、中間7.5円、期末8円（前回予想7.5円より**0.5円増配**）の合計15.5円となります。加えて、2018年7月 東証一部上場に当たり記念配当2.5円を実施し、年間計18円となりました。また、第58期の普通配当は、中間9円、期末9円の合計18円を予定しております。（普通配当において**2.5円増配**）今後とも、皆様の継続的なご理解とご支援、ご協力を賜りますよう、何卒宜しく願い申し上げます。

基本施策「セグメント戦略の推進」に関して、ハイバリュー（HV）、ワイドバリュー（WV）、プロダクトバリュー（PV）の3つのグループそれぞれの採用基準の設定により、採用機会が増加いたしました。また、グループ別の教育・研修のプログラムの実践が可能となりました。そして、顧客企業のニーズと技術者のスキルをセグメント化し、マッチング精度を高めることで、顧客企業の満足度向上を図っております。また、エリアも従来の東海、関東の伸びに加え、戦略的に東北や九州の顧客開拓を行い、売上伸長の成果が出ております。

次に、基本施策「多種多様な人材活用の推進」の「請負・受託体制の確立」に関して、初年度において、シニア、協力会社の活用がスタートしたことは、2年目以降に向け、確かな一歩だと考えております。中期経営計画3カ年において、受注プロジェクト数を増加させることが至上命題です。

今後の教育・研修の取り組み

**ラーニングセンターの増床移転により研修体制を強化。
人生100年時代に備えるキャリアプランを設計。**

2019年1月、大阪の江坂にある教育・研修施設「ラーニングセンター」を増床移転いたしました。実践的、かつピンポイントのカスタマイズ研修が可能な施設で、新卒研修においても、顧客企業の求める技術レベルまで配属前に身につけることができます。さらに、様々な研究者や技術者が交流する場としての充実も図ってまいります。

また、人生100年時代に備えて、現役年齢を60歳または65歳から70歳に引き上げる世の中の動きがあります。70歳まで現役技術者として活躍するためには、その手前の40歳、50歳のキャリアプランが極めて重要だと考えております。当社は、そうした広い視野に立ち、様々な研修カリキュラムの一層の強化に取り組んでまいります。

特集：教育・研修施設

「ラーニングセンター」リニューアル

アルトナーの教育・研修は、人間力と技術力のバランスのとれた人材を育成することをポリシーに正社員である技術者の育成に力を注いでいます。2019年1月、技術者の教育・研修施設である「ラーニングセンター」を増床移転しました。様々な研究者や技術者が交流する場として集い、大いに盛り上がる中心となるよう期待がこめられた施設です。訪れた方々には実際の研修の様子もご覧いただけます。この施設のアウトラインをご紹介します。



大阪の江坂の十字路の一角に立つコンバーノビル、この7階にラーニングセンターがあります。



エレベーターを降り立つと、白い壁にアルトナーのロゴが見えます。



正面のドアを入ると、明るく広いガラス張りのスペースが広がっています。



一番広いスペースでは、200人収容可能で、新入社員研修をはじめとした大人数の研修用のスペースとして主に座学が行われます。



CAD研修の実習を行うためのスペースでは、長時間のパソコン学習でも身体に負担の少ないアーチ型のデスクを導入。



セミナールームでは、学生向けの会社説明会などを開催。



応接ルームは、プレゼン発表の実習にも利用されます。



アルトナーライブラリーでは、専門書を読むことができます。

「ラーニングセンター」は実践的、かつピンポイントのカスタマイズ研修が可能な施設で、新卒研修においても、顧客企業の求める技術レベルを配属前に身につけることができます。

ラーニングセンターで開催された
学生向け教育・研修インターンシップ
1日コースを覗いてみました！

インターンシップでは学業では体験できない、アルトナーが設立55年以上の経験で培った、リアルな設計開発を職業体験できます。



まずは、
社会人としての
ビジネスマナーの
講義を聞く！



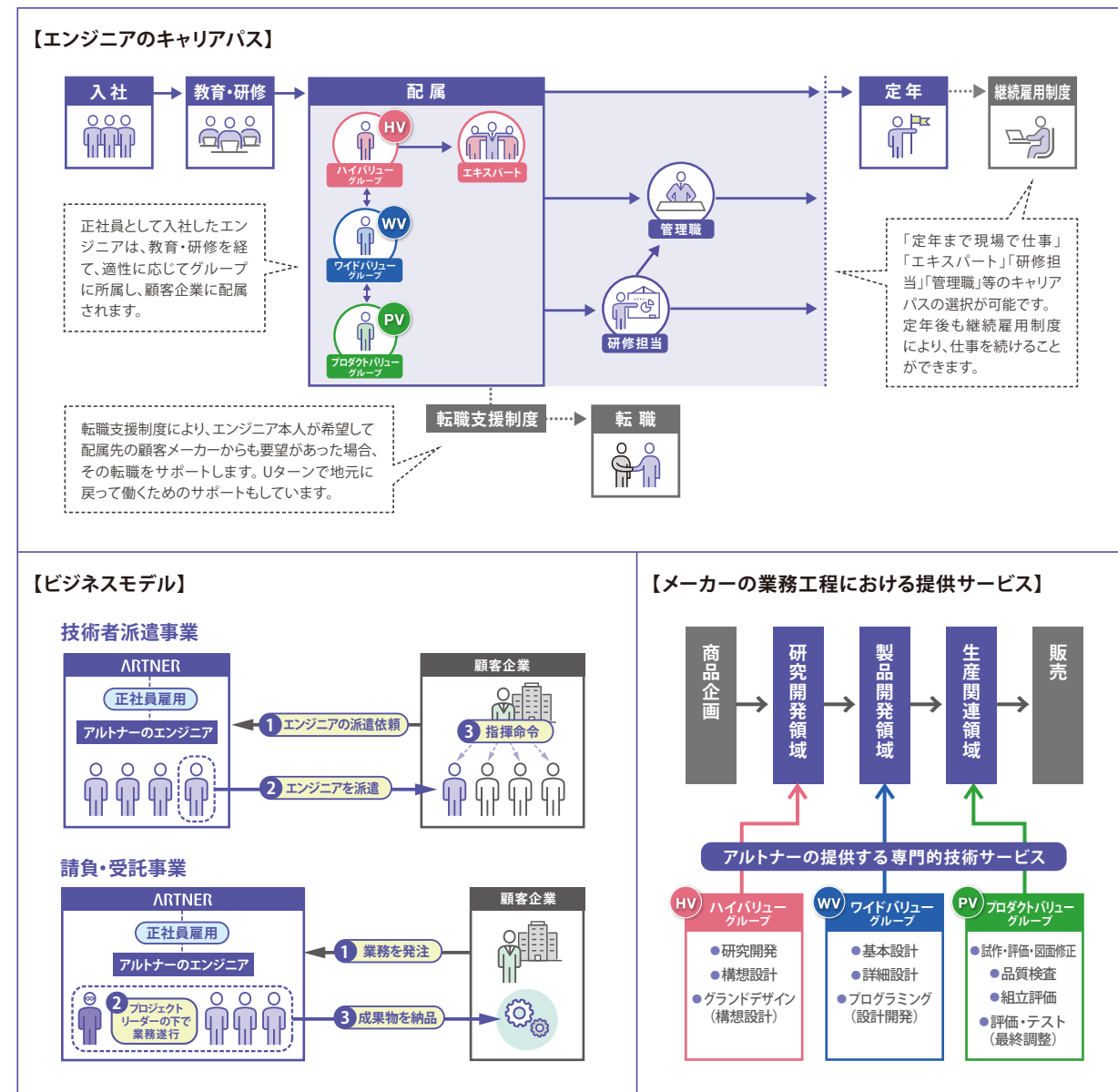
各設計分野に
分かれて
ブチ設計を勉強

話題の
乗り物も
体験



キャリアパス & ビジネスモデル

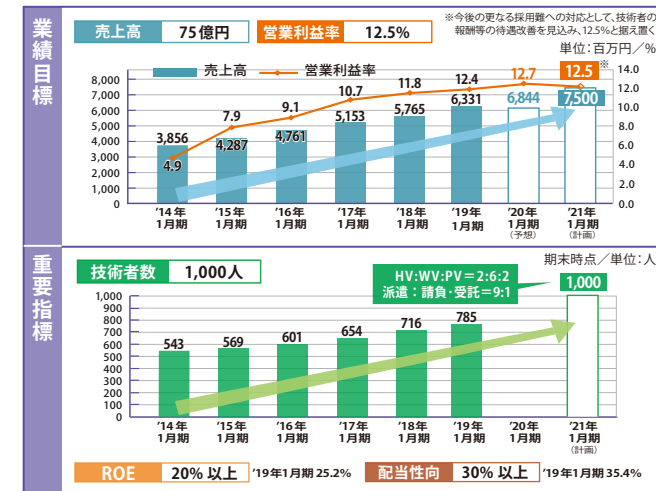
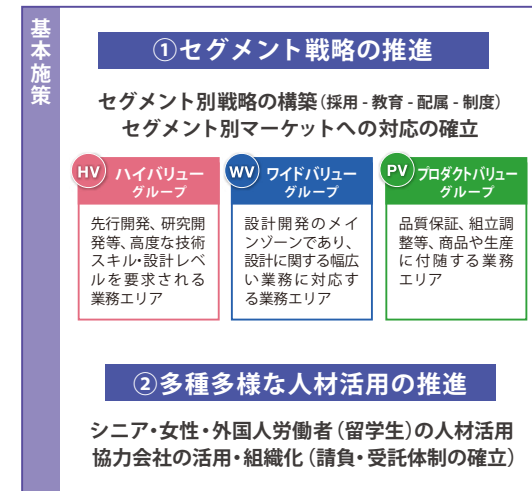
技術開発の強力なパートナーとして、多様なニーズにお応えいたします。



中期経営計画の進捗

(2019年1月期 ▶ 2021年1月期)

※詳細はアルトナーサイトTOP ▶ 投資家情報 ▶ 経営方針 ▶ 中期経営計画参照



アルトナーニュース

入社式のご報告

153人の新卒技術者が入社しました。

4月1日、大阪のホテル阪神で2019年度の入社式が執り行われました。社長、役員による歓迎の挨拶から始まり、新卒技術者の代表による挨拶、辞令の交付などが行われました。社会人としての成長と新卒技術者の大きな可能性に、ぜひご期待ください。



「常に謙虚で感謝の心を忘れないで欲しい」と式辞を述べる関口社長



歓迎会では、壇上に並び自己紹介を行いました

Web サイト情報

artner.co.jpに新コンテンツが続々登場。

アルトナーのWebサイトに新しいコンテンツが登場。女性エンジニアの本音を聞く「アルトナー女子会」シリーズ第3弾、2019年の新卒技術者ブログ、請負・受託事業のエンジニア取材した記事と動画など。今後もコンテンツの充実を継続させてまいりますのでぜひご覧ください。



請負・受託事業
エンジニア



2019年新卒ブログ



アルトナー女子会
Vol.3

要約財務諸表

貸借対照表（要旨）			（単位：百万円）	
科 目	第56期末 2018年1月31日現在	第57期末 2019年1月31日現在		
資産の部				
流動資産	2,471	2,915		
固定資産	292	348		
有形固定資産	83	94		
無形固定資産	56	65		
投資その他の資産	153	188		
資産合計	2,763	3,264	ポイント①-A	
負債の部				
流動負債	546	600		
固定負債	253	330		
負債合計	799	930	ポイント①-B	
純資産の部				
株主資本	1,958	2,329		
資本金	238	238		
資本剰余金	168	168		
利益剰余金	1,552	1,923		
自己株式	△0	△0		
評価・換算差額等	5	4		
その他有価証券評価差額金	5	4		
純資産合計	1,963	2,333	ポイント①-C	
負債純資産合計	2,763	3,264		

POINT

ポイント① 貸借対照表

- ① 総資産は、現預金、売上債権の増加により、前事業年度末に比べ500百万円増加。
② 負債は、退職給付引当金、未払法人税等の増加により、前事業年度末に比べ130百万円増加。
③ 純資産は、利益剰余金の増加により、前事業年度末に比べ369百万円増加。

ポイント② 損益計算書

- ① 売上高は、技術者派遣事業にて、稼働人員、技術者単価が前年を上回ったことにより、前期比9.8%増の6,331百万円。
② 利益面においては、技術者の労務費等の売上原価、求人費等の販売管理費が前年を上回ったものの、それを上回る売上高の増収により、営業利益は前期比15.3%増の785百万円、経常利益は前期比15.0%増の794百万円、当期純利益は前期比12.5%増の540百万円。

※百万円未満を切り捨てています。

損益計算書（要旨）				（単位：百万円）	
科 目	第56期 2017年2月1日から 2018年1月31日まで	第57期 2018年2月1日から 2019年1月31日まで			
売上高	5,765	6,331	ポイント②-A		
売上原価	3,725	4,033			
売上総利益	2,039	2,298			
販売費及び一般管理費	1,358	1,513			
営業利益	681	785	ポイント②-B		
営業外収益	9	8			
営業外費用	0	0			
経常利益	690	794	ポイント②-B		
特別損失	－	1			
税引前当期純利益	690	792			
法人税、住民税及び事業税	242	284			
法人税等調整額	△33	△32			
当期純利益	480	540	ポイント②-B		

キャッシュ・フロー計算書（要旨）				（単位：百万円）	
科 目	第56期 2017年2月1日から 2018年1月31日まで	第57期 2018年2月1日から 2019年1月31日まで			
営業活動によるキャッシュ・フロー	471	612	ポイント③-B		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25	△75	ポイント③-C		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△134	△169	ポイント③-D		
現金及び現金同等物の増減額	310	367	ポイント③-A		
現金及び現金同等物の期首残高	1,372	1,683			
現金及び現金同等物の期末残高	1,683	2,050			

POINT

ポイント③ キャッシュ・フロー計算書

- ① 当事業年度末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ367百万円増加。
② 営業活動CFは、法人税等の支払があったものの、税引前当期純利益、退職給付引当金の増加により、612百万円のプラス。
③ 投資活動CFは、無形固定資産の取得、敷金及び保証金の差入による支出により、75百万円のマイナス。
④ 財務活動CFは、配当金の支払により、169百万円のマイナス。

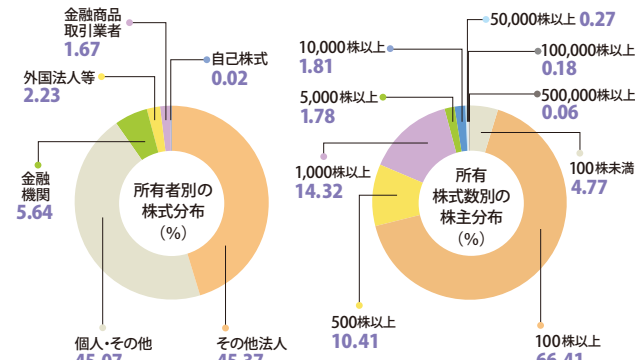
会社・株式情報（2019年1月31日現在）

会社概要			
名 称	株式会社アルトナー	研修拠点	ラーニングセンター
設 立	1962年9月18日	事業内容	1)機械 2)電気・電子 3)ソフトウェア 上記分野の基礎研究、設計開発、 及び開発技術等の周辺業務
代 表 者	代表取締役社長 関口 相三	社 員 数	881人
株 式	東京証券取引所市場第一部 （証券コード:2163）	許可番号	労働者派遣事業（派27－020513） 有料職業紹介事業（27－ユ－020355）
資 本 金	2億3,828万4,320円		
本 社	東京／大阪		
事業拠点	横浜／大阪／宇都宮／名古屋		

役員一覧

代表取締役社長	関口 相三
取締役 役	奥坂 一也
取締役 役	張替 朋則
取締役 役	江上 洋二
取締役 役	佐藤 宗
取締役（常勤監査等委員）	三谷 高昭
取締役（監査等委員）	金井 博基
取締役（監査等委員）	福室 孝三郎

株式の分布状況



株式の状況

発行可能株式総数	36,000,000 株
発行済株式の総数	10,627,920 株
株主数	3,373人

大株主の状況

氏名または名称	所有株式数(株)	割合(%)※
株式会社関口興業社	4,310,000	40.56
アルトナー従業員持株会	1,039,748	9.78
大阪中小企業投資育成株式会社	480,000	4.51
張替 朋則	270,240	2.54
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	255,700	2.40
奥坂 一也	254,880	2.39
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	130,300	1.22
江上 洋二	101,552	0.95
アルトナー役員持株会	94,200	0.88
上野 修	80,000	0.75
合計	7,016,620	66.03

※発行済株式（自己株式を除く。）の総数に対する所有株式数の割合